

水稻高標高試験圃の生育状況(令和8年)

農業試験場原村試験地圃場(標高1,017m)

調査時期	調査項目	きらりん				ゆめしなの				あきたこまち			
		前年 (R7)	平年	本年 (R8)	平年差	前年 (R7)	平年	本年 (R8)	平年差	前年 (R7)	平年	本年 (R8)	平年差
移植後 20日	主稈葉数 (枚)	5.7	5.9	5.7	-0.2	5.4	5.7	5.5	-0.2	5.7	6.0	6.0	0.0
	草丈 (cm)	22	31	22	72%	33	33	27	81%	19	27	22	80%
	茎数 (本/m ²)	65	114	97	85%	65	94	99	106%	69	89	80	90%
移植後 30日	主稈葉数 (枚)	8.0	7.7	7.6	-0.1	7.6	7.5	7.3	-0.2	8.1	7.6	7.9	0.3
	草丈 (cm)	33	35	30	85%	38	38	35	93%	30	31	28	91%
	茎数 (本/m ²)	200	268	233	87%	192	225	263	117%	170	201	235	117%
移植後 40日	主稈葉数 (枚)	9.5	9.3	9.6	0.3	8.9	9.1	9.0	-0.1	9.7	9.4	9.7	0.3
	草丈 (cm)	48	50	44	87%	50	53	52	97%	40	43	41	96%
	茎数 (本/m ²)	403	511	502	98%	290	418	480	115%	365	396	435	110%
移植後 50日	主稈葉数 (枚)	11.2	10.4	11.0	0.6	10.5	10.3	10.3	0.0	11.4	10.6	11.0	0.4
	草丈 (cm)	68	64	60	93%	76	66	68	102%	60	56	56	100%
	茎数 (本/m ²)	491	564	572	101%	443	476	608	128%	472	479	556	116%
幼穂 形成期	期 (月 日)	6/28	7/2	7/3	+1	7/5	7/8	7/10	+2	7/10	7/14	7/16	+2
出穂期	期 (月 日)	7/22	7/27	7/26	-1	7/28	8/2	8/4	+2	8/1	8/5	8/6	+1
成熟期	期 (月 日)	8/31	9/6			9/6	9/13			9/15	9/21		
	稈長 (cm)	74	71			90	86			93	80		
	穂長 (cm)	19	18			19	18			20	18		
	穂数 (本/m ²)	566	499			483	425			428	393		
	玄米重 (kg/a)	73.2	60.2			76.3	68.3			79.5	68.0		
	千粒重 (g)	22.3	21.6			22.6	22.4			22.7	22.2		
	総粒数 (粒/m ²)	38969	37427			45794	39716			45992	36717		
	登熟粒数 (粒/m ²)	31398	31146			40821	34041			35595	32395		
	登熟歩合 (%)	80.6	83.3			89.1	85.8			77.4	87.9		

平年値は令和元年～令和7年の収量の最大、最小年を除く7中5年の値。

移植日：令和8年5月26日、苗質：中苗、移植法：1株3本手植え、栽植密度：22.2株/m²(30cm×15cm)、玄米重は1.85mm篩データを使用。

苗丈(cm)および葉齢(L)「きらりん」15.4 3.2 「ゆめしなの」15.4 3.2 「あきたこまち」14.1 3.8
<概要>

移植後20日の生育：主稈葉数は3品種とも平年並みであったが、草丈は3品種とも平年を下回った。茎数は、きらりんとかきたこまちで平年を下回り、ゆめしなのでは平年より多かった。草丈は、苗丈が例年に比べ短かったことにより平年を下回ったと考えられた。

移植後30日の生育 主稈葉数は3品種とも平年並みであった。草丈は3品種とも平年を下回ったが、移植後20日と比較すると平年との差は小さくなった。茎数は、ゆめしなの及びあきたこまちでは平年を上回った。きらりんは移植後20日時点で平年を下回った生育の回復が遅れている。草丈は、苗丈が平年より短かったことが影響し、30日後においても平年を下回ったものと考えられた。茎数は、移植後21～30日の平均気温と日照時間は平年並みとなり、分けつの発生が順調に進み、ゆめしなの及びあきたこまちでは茎数が平年を上回ったと考えられた。

移植後40日の生育 主稈葉数は3品種とも平年並みであった。草丈はゆめしなの、あきたこまちでは平年並みに回復し、きらりんでは平年を下回った。茎数は、ゆめしなの及びあきたこまちでは平年を上回った。きらりんでも茎数は回復し、平年並みとなった。

移植後50日の生育 主稈葉数は、ゆめしなの及びあきたこまちで平年並みに推移した一方、きらりんでは平年よりやや生育が進んだ。草丈はゆめしなの、あきたこまちで平年並みであり、きらりんでは平年を下回ったが移植後40日と比較すると回復していた。茎数は、ゆめしなの及びあきたこまちでは平年を大きく上回り、きらりんでは平年並みとなった。移植後41～50日の平均気温と日照時間が平年を大きく上回っていることが、茎数の増加に関与したと考えられた。

幼穂形成期 きらりんで平年値+1日、ゆめしなので平年値+2日、あきたこまちで平年値+2日となり、平年並みの幼穂形成期となった。

出穂期 きらりんで平年値-1日、ゆめしなので平年値+2日、あきたこまちで平年値+1日となり、平年並みの出穂期となった。

成熟期

収量

収量構成要素

<参考>気象概況(アメダス 原村観測地点)				
期間		平年差		登熟積算気温
		平均気温 (℃)	日照時間 (hr)	
移植直後～10日		+1.74	-0.18	
移植後11～20日		-0.81	-0.72	
移植後21～30日		+0.21	+0.55	
移植後31～40日		-1.12	-1.62	
移植後41～50日		+2.08	+3.32	
移植後41日～幼穂形成期	きらりん	-0.75	-1.45	
	ゆめしなの	-1.13	-1.07	
	あきたこまち	+0.49	+0.70	
幼穂形成期～出穂期	きらりん	+1.88	+1.98	
	ゆめしなの	+2.22	+1.67	
	あきたこまち	+1.93	+1.80	
出穂期～成熟期	きらりん			
	ゆめしなの			
	あきたこまち			